

経営理念

使命

人と街を結び、人と人を結び、人に優しい県内唯一の軌道系公共交通としての使命を果たす。

新中長期経営計画の位置づけ

2012年度 - 2019年度

2020年度 - 2024年度

2025年度～

1st step
乗車増進
定着を目指す

2nd step
安定的経営への基盤づくり

3rd step
持続的成長へ

具体的な取組

1 安全性向上の取組み強化

- ▶ 安全体制の強化
- ▶ 運行管理の強化
- ▶ 施設の安全対策
- ▶ 車両の安全対策
- ▶ BCPの策定
- ▶ 車両からの脱出シューター検討
- ▶ 車両前面貫通扉構造の変更
- ▶ 車両SIV 2重化

2 魅力あるサービスの提供

- ▶ 3両化
- ▶ ホーム・校内放送の多言語化
- ▶ トイレの洋式化
- ▶ 全国共通ICカードの導入
- ▶ ホームドア改修及び固定スロープの設置

3 人材の育成と組織の強化

- ▶ 階層別教育の強化
- ▶ サービス向上のための教育の充実
- ▶ 人事評価制度の導入
- ▶ OJTの実施
- ▶ ジョブローテーションの実施
- ▶ 他社等との交流

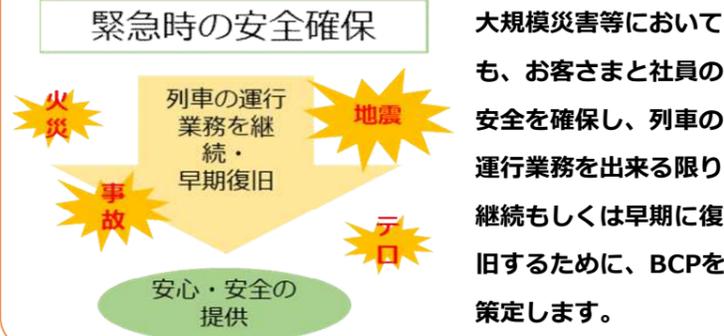
4 新規事業

- ▶ 新規事業参入への検討
- 駅・車内等の清掃業務
- 各設備の保守整備作業
- 広告業務等
- 施設の営繕業務の内製化
- 手荷物預かりサービスの立ち上げ

5 財務基盤の強化

- ▶ DESの実施
- 債務超過の解消に向けた取組み
- ▶ 安定した経営利益の確保
- 累計損失の解消、健全な財務体質づくりに向けて
- ▶ DDS・増資の実施
- 資金繰りの安定化に向けた施策

BCPの策定



3両化

【現状】
・地元利用客の定着
・海外を中心とした観光客の増加
ピーク時間帯の車内混雑・乗り残し

【今後】
・那覇空港第二滑走路供用開始
・沿線開発による乗客数増加



交通系ICカードのサービス開始

10種類の交通系ICカードのいずれも利用可能となります。



財務基盤の強化

2020/2末にDESを実施し、債務超過を解消いたしました。

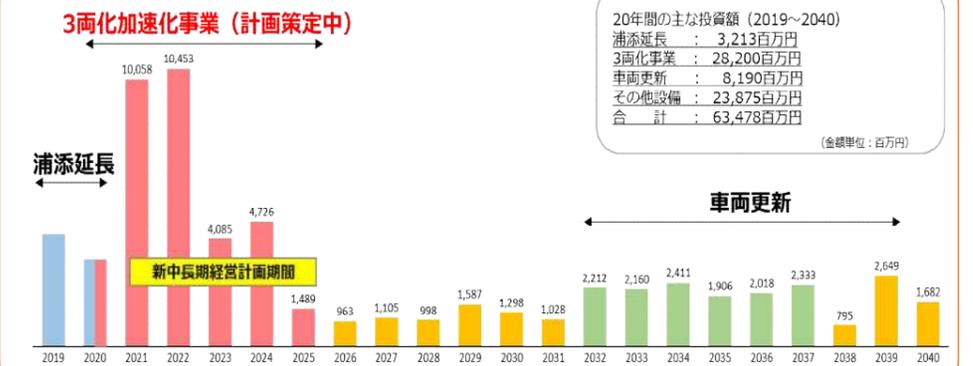
2019/3末時点 <DES実行前>		2020/3末見込 <DES実行後>	
資産 25,904	負債 28,622	資産 22,024	負債 20,692
繰越欠損金	債務超過 2,717	繰越欠損金	DESによる増加 2,717
	資本金・資本剰余金 10,010		増資 公債1,000 増資 経費 135 資本金・資本剰余金 10,010
			資本金等増加額 3,852

収支表（2020年度-2024年度）

(金額単位：百万円)

項目	見込	新中長期経営計画期間				
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
1日あたり輸送人員（人/日）	55,321	59,000	60,617	62,280	63,994	65,762
売上高	4,396	4,676	4,804	4,937	5,089	5,224
営業費用	3,754	4,333	4,301	4,299	4,503	4,582
経常利益	540	250	418	553	503	566
当期純利益	196	209	355	472	428	283
純資産合計	1,332	1,542	1,896	2,368	2,796	3,079
EBITDA(営業利益+減価償却費)	1,764	1,691	1,804	1,864	1,963	1,909
設備投資額	4,214	3,308	10,058	10,453	4,085	4,726
現預金残高	3,710	3,687	3,406	3,092	3,648	2,942

設備投資計画（2020年度-2040年度）



アクションプラン（2020年度-2024年度）

取組み	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
サービス	3両化（運営基地の建設）	●	●	●	●
	3両化（車両の新造・改造）	●	●	●	●
	トイレの洋式化	●	●	●	●
	ホームドア改修・固定スロープ設置	●	●	●	●
安全	BCP策定	●	●	●	●
	脱出シューター検討	●（検討）	●	●	●
	前面貫通扉構造の変更	●（検討）	●（設置）	●	●
	車両SIV 2重化	●（検討）	●（設置）	●	●
人材育成	人事評価制度の導入	●	●	●	●
財務	財務基盤の強化	●（検討）	●	●	●